

平成31年3月 市長記者会見発言録

日 時：平成31年3月27日（金）10：00～10：25

場 所：二本松市役所 庁議室

出席者：市長、教育長、市民部長、産業部長、建設部長、教育部長

報道機関：福島民報社、福島民友新聞社、福島建設工業新聞社

朝日新聞社、NHK福島放送局

会 見：別紙資料により市長から説明。

資料1 2019 さくらシンポジウム in 二本松について

資料2 霞ヶ城公園観桜会について

資料3 霞ヶ城公園の桜まつり「庭園のライトアップ」について

資料4 「二本松の名所旧跡を巡る春さがし号」(市内循環臨時バス)
について

資料5 大人気バスツアー4日間限定「桜の名所号」について

資料6 防災行政無線「屋外スピーカー」の運用開始について

資料7 ダムカードの配付について

資料8 東和ロードレースの開催について

《質疑応答》-----

「さくら関連イベント」関連

記者：桜の名所号は、ルートはどうなっているのか。

産業部長：二本松駅前の発着で、1日2便、約3時間をかけて名所を巡るバスツアーである。予約やお問い合わせは昭和タクシーまでお願いしたい。

記者：さくら関連イベントとして今年初めて行うものはどれか。

産業部長：全国さくらシンポジウムが初めての取り組みとなる。

記者：さくらシンポジウムを開催する意味合いは何か。

産業部長：桜は見るだけのものではなく、きれいに見せるため年間を通して手入れをするなど、活動について考える機会にするとともに、シンポジウムを通して地域の桜の魅力を全国に発信することとを目的としている。

市長：今の桜は長い年月を受け継いでいるもので、多くの先人が桜守りとして大切に守ってきた。この桜を、これから100年後、500年後の子どもたちに継承していくために、それらの維持管理等についての話し合いが行われる。

記者：パネルディスカッションがそれに該当すると思われるが、二本松からの参加者はあるのか。

産業部長：合戦場のしだれ桜の保存会がディスカッションに参加し、活動状況や今後の目標などを報告することとなっている。

記者：桜の開花状況の発信は、どのように行うのか。

事務局：二本松市観光連盟のホームページ、ツイッターで市内全体の状況を毎日お知らせする。

「屋外スピーカー」関連

記者：屋外スピーカーは、安達太良山周辺地区には設置するのか、

市民部長：くろがね小屋に設置する予定だが、小屋が建て替え予定となっており平成31年度には完成予定となっているので、その後に設置する予定である。

(以上)